

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第3週の発生動向

### 全数報告の感染症 (3週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：A 型肝炎 1 例、つつが虫病 1 例。5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20 歳代	男	肺結核	—
			30 歳代	男	肺結核	咳、痰
			70 歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
		都城	90 歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
4類	A型肝炎	宮崎市	10 歳代	女	—	全身倦怠感、発熱、食欲不振、肝機能異常、腰痛、関節痛
	つつが虫病	都城	60 歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	80 歳代	男	—	発熱、関節痛

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は5,615人(定点当たり102.8)で、前週比149%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は流行性耳下腺炎である。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【インフルエンザ】

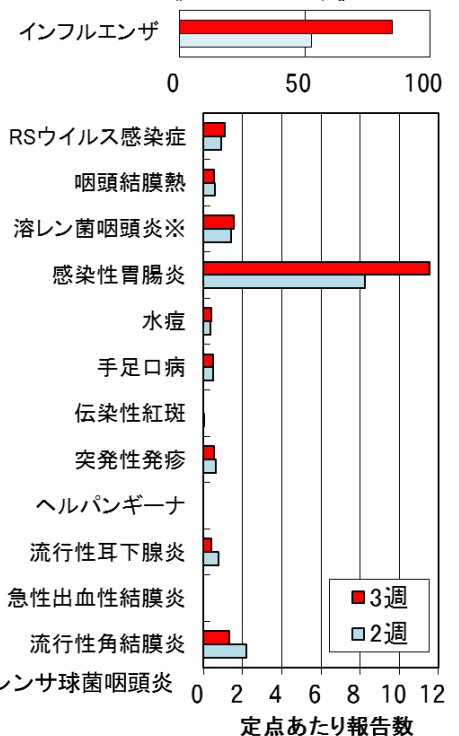
報告数は5,013人(85.0)で、前週比161%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値\*(36.6)の約2.3倍である。延岡(145.4)、都城(95.9)、日向(93.2)、中央(92.5)保健所からの報告が多く、年齢別は10歳未満が全体の約6割を占めている。

##### 【感染性胃腸炎】

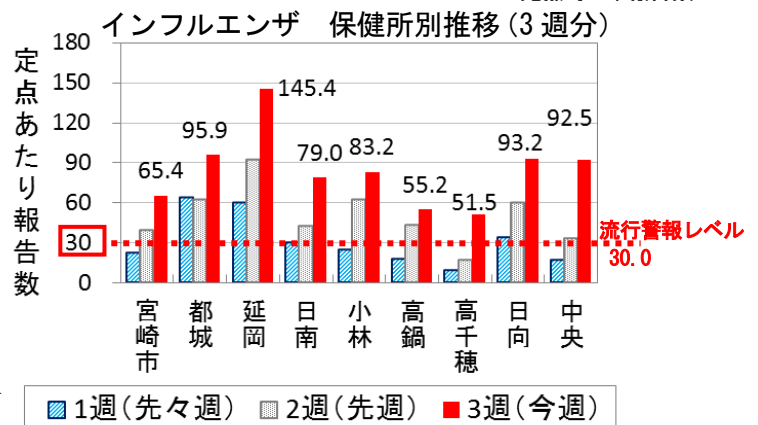
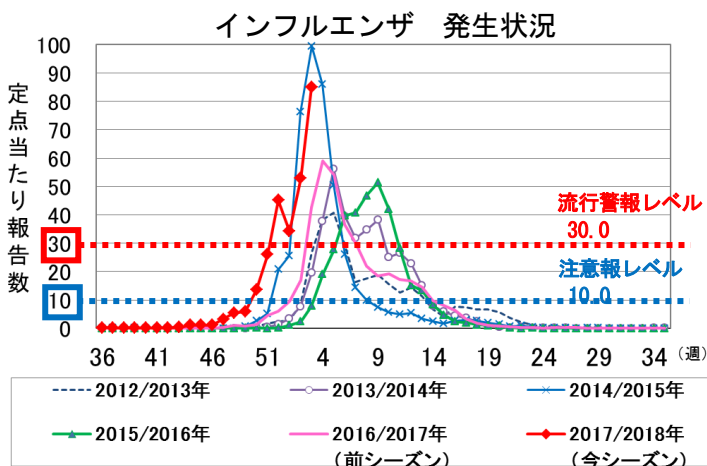
報告数は415人(11.5)で、前週比140%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値\*(12.9)の約0.9倍である。小林(31.3)、日南(21.3)保健所からの報告が多く、年齢別は1~2歳が全体の約3割を占めている。

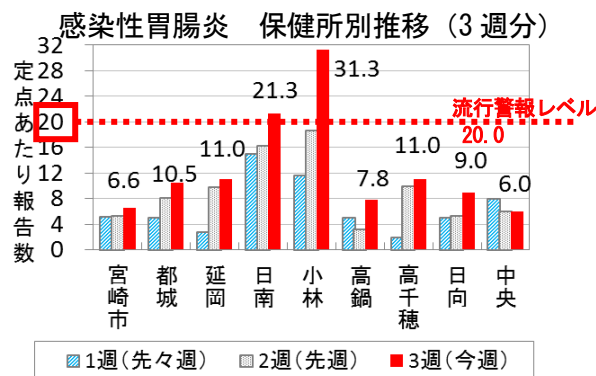
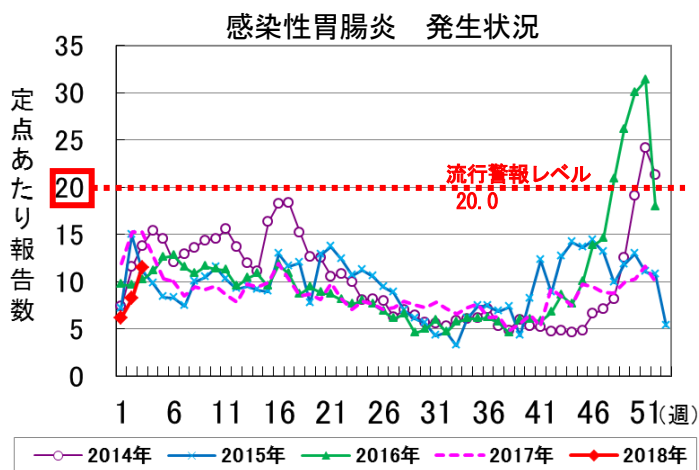
\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎





★基幹定点からの報告★  
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(65.4)
都城	インフルエンザ(95.9)
延岡	インフルエンザ(145.4)
日南	インフルエンザ(79.0)、感染性胃腸炎(21.3)、 流行性耳下腺炎(5.0)
小林	インフルエンザ(83.2)、感染性胃腸炎(31.3)
高鍋	インフルエンザ(55.2)
高千穂	インフルエンザ(51.5)
日向	インフルエンザ(93.2)
中央	インフルエンザ(92.5)

\* 流行警報レベル開始基準値 \*

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)

\* 流行注意報レベル基準値 \*

- ・流行性耳下腺炎(3.0)

## 全国 2018 年第 2 週の発生動向

### 全数報告の感染症 (全国第 2 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	273 例				
3類感染症	コレラ	2 例	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	10 例
	腸チフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	1 例	A型肝炎	7 例	つつが虫病	13 例
	デング熱	1 例	レジオネラ症	16 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例
	急性脳炎	18 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	14 例
	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例	侵襲性肺炎球菌感染症	97 例
	水痘 (入院例)	5 例	梅毒	60 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	百日咳	27 例	風しん	1 例	麻しん	1 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例				

### 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 157%と増加した(年末年始の休診を含む)。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は水痘と手足口病である。

インフルエンザの報告数は 130,682 人(26.4)で前週比 162%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(14.8)の約 1.8 倍である。宮崎県(52.8)、福岡県(41.6)、大分県(41.2)からの報告が多く、年齢別では 10 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 16,688 人(5.3)で前週比 157%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値(7.1)の約 0.7 倍である。大分県(14.3)、宮崎県(8.2)、福井県(7.9)からの報告が多く、年齢別では 1~2 歳が全体の約 3 割を占めた。\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

## 宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2018年 第03週(01月15日～01月21日)

疾病名		第2週	第3週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3117	5013	1047	959	1018	395	416	331	103	559	185
	定点あたり	52.83	84.97	65.44	95.90	145.43	79.00	83.20	55.17	51.50	93.17	92.50
RSウイルス 感染症	報告数	32	39	16	3	7	1	1	3		5	3
	定点あたり	0.89	1.08	1.60	0.50	1.75	0.33	0.33	0.75	0.00	1.25	3.00
咽頭結膜熱	報告数	21	20	8	4		3	2	1		2	
	定点あたり	0.58	0.56	0.80	0.67	0.00	1.00	0.67	0.25	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	50	55	20	2	10	2	1			14	6
	定点あたり	1.39	1.53	2.00	0.33	2.50	0.67	0.33	0.00	0.00	3.50	6.00
感染性胃腸炎	報告数	296	415	66	63	44	64	94	31	11	36	6
	定点あたり	8.22	11.53	6.60	10.50	11.00	21.33	31.33	7.75	11.00	9.00	6.00
水痘	報告数	13	14	4	1	2	2	2	1		2	
	定点あたり	0.36	0.39	0.40	0.17	0.50	0.67	0.67	0.25	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	17	17	6	1	1	4		4		1	
	定点あたり	0.47	0.47	0.60	0.17	0.25	1.33	0.00	1.00	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	22	19	5	2	2	2	4	3		1	
	定点あたり	0.61	0.53	0.50	0.33	0.50	0.67	1.33	0.75	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	27	15				15					
	定点あたり	0.75	0.42	0.00	0.00	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	8	6	2							
	定点あたり	2.17	1.33	2.00	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	3										
	定点あたり	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数

下段:定点あたり報告数

## ●全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～3週)

2類感染症	結核	12例(4)		
4類感染症	A型肝炎	2例(1)	つつが虫病	1例(1)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	4例(1)
			百日咳	2例

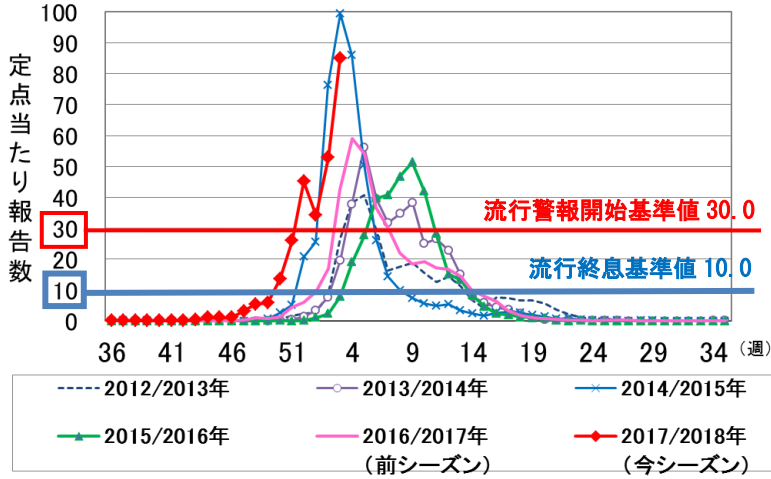
( )内は今週届出分、再掲

# インフルエンザ情報 《県内第3週、全国第2週（再掲）》

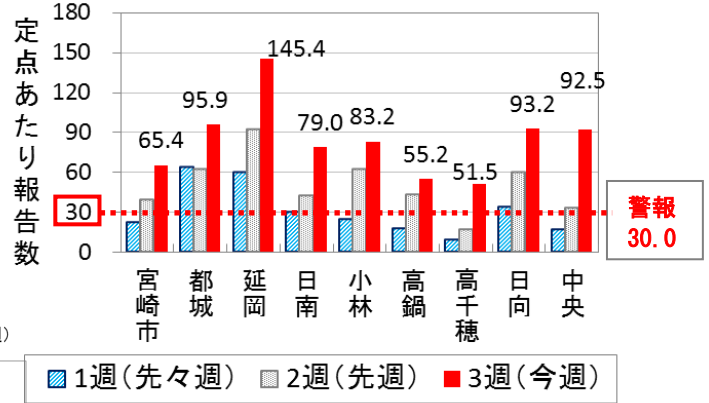
## □ 県内第3週インフルエンザ発生動向

第3週（2018年1月15日～1月21日）は5,013人（85.0）の報告があった。前週の約1.6倍と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\*（36.6）の約2.3倍であった（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の21%、5-9歳が34%、10-14歳が19%、15-19歳が4%、20-59歳が15%、60歳以上が7%を占めた（図3）。

（図1）インフルエンザ 発生状況



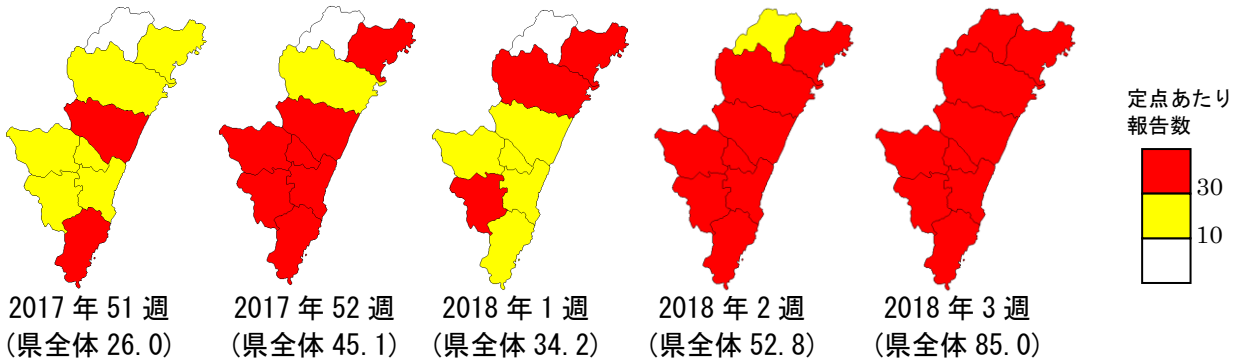
（図2）インフルエンザ保健所別推移（3週分）



（図3）年齢群別割合の推移（2017年第51週～2018年第3週）

週	5歳未満	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～59歳	60歳以上
51週 1,536人	21%	41%	22%	2%	11%	3%
52週 2,663人	21%	39%	17%	3%	16%	4%
1週 2,016人	23%	22%	11%	4%	31%	9%
2週 3,117人	24%	25%	15%	5%	23%	8%
3週 5,013人	21%	34%	19%	4%	15%	7%

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2017年第51週～2018年第3週



## □ 全国第2週インフルエンザ発生動向

第2週（2018年1月8日～1月14日）は130,682人（26.4）で前週の約1.6倍と増加した。宮崎県（52.8）、福岡県（41.6）、大分県（41.2）からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が全体の19%、5-9歳が23%、10-14歳が12%、15-19歳が6%、20-59歳が30%、60歳以上が10%であった。